

# 事業団 たより

～わたしからあなたへ… まごころ発信～

大分県のぞみ園の  
みなさんに  
会いに来ました！

じぎよたんの  
おじゃまします！



由布市 大分県のぞみ園

- P2~P5 ●実践事例研修会
- P6 ●契約者状況
- P6 ●入団式
- P7 ●オーブンセミナー
- P7 ●令和5年度事業計画
- P8 ●重大ニュース
- P8 ●輝くあなた

陽春号



第133号

令和5年4月1日

特定社会福祉法人

大分県社会福祉事業団

大分市大津町2丁目1番41号  
大分県総合社会福祉会館

TEL(097)552-1316  
FAX(097)552-1094  
<http://www.oitaswo.jp>

季節の花苗販売中です！



季節に応じていろんな種類のお花が揃っています。  
お気軽に問い合わせください。

大口注文、個別注文、配達の相談等下記にご連絡ください。

大分県 深桑寮  
福祉農園ハイテク

お祭りせ先  
TEL: 0977-72-1721

季節のパスタ

ペスカトーレ  
季節のパスタ



ブチパン・サラダセット  
¥1,250  
単品  
¥950

イタリア南部の地中海の料理で、古くから長年愛された料理です。魚介の旨味とトマトの相性はバツグン♪

当店では、白ワインとバジルの香りで仕上げております。

地域総合支援センター  
natura+∞

お祭りせ先  
TEL: 0978-25-4688

大分県社会福祉事業団

## 重大ニュース

- 1 非正規職員への手当拡充(4月)  
及び一般職(勤務エリア限定)採用開始(6月)  
○職員が多様な働き方を選択できるよう制度改正を行いました
- 2 出生時育児休業制度(産後パパ育休)を新設(4月)  
○法人内で3名の職員が休暇を取得しました
- 3 法人施設で初めて新型コロナウイルス感染症の  
クラスター発生(7月)  
○感染拡大の原因を検証し、法人内で共有しました
- 4 秋好秀俊元糸口厚生園長より風景写真の寄贈(7月)  
阿部起任氏より絵画の寄贈(1月)  
○法人の各施設に飾らせていただきました
- 5 全国障害者スポーツ大会にて、糸口学園・江本伊吹  
選手が金メダル(陸上:立幅跳)を獲得!(10月)  
○大分県選手団の一員として、陸上競技少年の部に出場しました
- 6 社会福祉事業団職員実践報告・実務研究論文にて  
優良賞及び佳作受賞(10月)
- 7 糸口学園 徳田宏幸園長 瑞宝章光章 受章(10月)  
八つ星の丘 松並勇治所長 厚生労働大臣表彰(12月)
- 8 首藤忍名誉会長(前理事長)ご逝去(1月)  
○永く当法人の発展に尽力していただきました  
心よりご冥福をお祈りいたします
- 9 〈ICT活用〉全事業所に「電子文書決裁システム」及び  
新しい介護記録ソフトを導入  
○職員の働き方改革をすすめました
- 10 リハビリ担当職員の増員について検討  
○令和5年度より専門職の増員を決定しました

# 令和4年度 実践事例研修会 委員会報告



## 広報委員会

ホームページの活用や事業団だより等の発行を通して、福祉への理解促進及び法人の魅力発信に取り組むのが広報委員会です。令和4年度はより効果的な実践を行うため、法人の広報活動について職員にアンケートを実施し、求めら



地域総合支援センター：佐藤主任支援員（委員長）

今回は3つの委員会の報告と2つの実践報告、そして法人が注力している人権問題に係る2つの発表がありました。

会の冒頭には青木理事長から本研修会の目的について説明があり、初参加の職員も意義を改めて理解することができました。また全ての発表が終わった後には、穴井副理事長からそれらの発表に対するコメントが、発表者を労う言葉とともに伝えられました。

内容の全ては紹介できませんでしたが、それぞれの発表をまとめましたのでこちらでご紹介いたします。

## サービス向上委員会

サービス向上委員会からは、「サービスの質の向上」「ご利用者・ご家族の満足度の向上」についての取組内容について報告がありました。

事業団で長年取り組んでいる職員行動規範チェック。法人が定め

た3つの委員会の取り組み状況や法人をあげたプロジェクト、各所属の実践事例などの成果報告を行うことで、各事業の情報共有をはかることを目的としています。職員のプレゼンテーション能力向上に資する面もあり、平成25年度の立ち上げ以降継承され、実に10回目の開催となりました。

この「実践事例研修会」は、各委員会の取り組み状況や法人をあげたプロジェクト、各所属の実践事例などの成果報告を行うことで、各事業の情報共有をはかることを目的としています。職員のプレゼンテーション能力向上に資する面もあり、平成25年度の立ち上げ以降継承され、実に10回目の開催となりました。

大分県社会福祉事業団では、法人の1年間の取り組みを振り返る研修会を年に1回行っています。今回も各施設・事業所から、所属長から支援補助員まで職階を問わず、多職種50名以上が参加しました。

この「実践事例研修会」は、各委員会の取り組み状況や法人をあげたプロジェクト、各所属の実践事例などの成果報告を行うことで、各事業の情報共有をはかることを目的としています。職員のプレゼンテーション能力向上に資する面もあり、平成25年度の立ち上げ以降継承され、実に10回目の開催となりました。

## リハビリテーション委員会

平成28年からリハビリテーション委員会として、言語聴覚士（ST）、作業療法士（OT）、管理栄養士、看護師、支援員の多職種協働で活動してきた当委員会。令和4年度から新たに理学療法士（PT）が活動してきました。次年度以降も評価結果と各計画書への評価結果の記載やりハビリテーション計画書にかかる取扱方法を統一することとしました。次年度以降も評価結果と各計画書を活用し、摂食・嚥下訓練倒事故防止委員会から発展し、転倒事故防止委員会から発展し、



右から、渕原智子（委員長）のぞみ園：大島理学療法士  
糸口第二厚生園：徳光主查（看護師）

まとめて報告がありました。DSSについては評価と検証等のデータの臨床的重症度分類)評価と検証、

②専門的アプローチの効果と課題の明確化、③職員の支援スキル向上、

④転倒及び誤嚥事故に関わるリスクの共有と支援内容の検証、の4点に

取り組んできました。

1年間の取組については伊藤委員長から、①DSS（摂食・嚥下障害

の臨床的重症度分類)評価と検証、

②専門的アプローチの効果と課題の明確化、③職員の支援スキル向上、

④転倒及び誤嚥事故に関わるリスクの共有と支援内容の検証、の4点に

まとめて報告がありました。DSSについては評価と検証等のデータの臨床的重症度分類)評価と検証、

②専門的アプローチの効果と課題の明確化、③職員の支援スキル向上、

④転倒及び誤嚥事故に関わるリスクの共有と支援内容の検証、の4点に

まとめて報告がありました。DSSについては評価と検証等のデータの臨床的重症度分類)評



令和5年度

# 事業計画

事務局(法人本部)

※要約

## 1 法人経営における現状と課題

- 感染防止対策の継続及びご利用者の安全と安心を前提とした、「Withコロナ」におけるより豊かな生活の実現のためのサービスの提供
- 職員の資質や支援技術及びチーム力の向上による、リスクマネジメント体制のさらなる強化
- 働きやすく働きがいのある職場づくりの促進による介護・福祉人材の確保

## 2 法人としての重点方針

以上を踏まえ、今年度の重点方針として次の項目を掲げる。

### (1) ご利用者の方の実現に向けた質の高いサービスの提供

- ア 感染防止対策を徹底し、「Withコロナ」の中、ご利用者の笑顔につながるサービスの提供を図るとともに、ご利用者やご家族が望む暮らしができるようニーズに沿った質の高いサービスの提供に努める。
- イ 高齢化、多様化する障がい特性やサービスの内容に応じて、専門性の高い支援技術や知識の獲得、支援の標準化を図るとともに、安全で安心できる快適な生活環境の提供を目指す。
- ウ 部落差別問題や虐待防止等の理解など、自ら学び発信することができる職員を育成することで、全ての職員の人権意識のさらなる高揚と人権尊重と虐待防止意識のさらなる徹底を図る。

### (2) 社会福祉法人として信頼される組織運営と経営基盤の安定強化

- ア 所属長経営面談座会等にて各所属のサービス利用状況や財務状況について共有し、課題があれば本部事務局と所属が一体となって改善を図る。また、毎月の経営推進会議においても事業進捗状況等の確認を行い、より円滑な事業運営を目指す。
- イ 本部事務局と各所属の会計監査人による往査を通じ、的確な会計処理と効率的な事務処理の徹底を図る。また、本部事務局による内部監査等により、課題の発見と改善に向けた取組を進め、業務の見直しと最適化を図る。
- ウ 各地域で想定される災害に対する防災訓練を実施し、防災対策の確認と意識の向上を図る。また、災害の発生及び感染症等の発生や蔓延に対応するための研修やシミュレーションを行い、非常時ににおける業務継続の計画について周知徹底を図る。

### (3) 各圏域における福祉の推進

- ア 各所属の特色ある福祉サービスについて積極的に提供するほか、設備の提供や各圏域で行われる他団体主催の研修会への講師派遣等、有する機能を地域へ提供し、地域福祉の活性化に寄与する。
- イ 地域生活支援拠点事業について、行政や各関係機関との連携を図りながら機能の発展に向けて協働し、地域福祉の推進に努める。
- ウ 各市町村の親なきあと相談員のネットワーク構築に向けた事業を県から受託し、法人のノウハウを各市町村の「親なきあと相談」の体制整備に活かす。

### (4) 人材の確保・育成・定着と働きやすく働きがいのある職場づくり

- ア 福祉人材の確保や社会福祉の理解促進のため、ホームページや広報誌による情報発信に引き続き力を入れ、より多くの方に法人の取組や福祉の魅力を知ってもらうための広報活動を行う。
- イ 職員研修計画に基づく研修や各所属の職場内研修、日々のOJT等を通して、求められるサービスを提供できる専門性の高い職員の育成とフォローアップを図る。
- ウ ICT（情報通信技術）を積極的に活用することで生産性の向上を図り、年次有給休暇の取得促進や時間外勤務の削減等業務改善につなげ、多様な働き方やワーカーライフバランスを意識した働き方を促進し、働きやすい職場づくりを目指す。
- エ 職員同士のコミュニケーションの活性化を図り、風通しのよい職場づくりを促進するとともに、研修等を通じコンプライアンス意識の徹底とハラスメント防止やメンタルヘルス対策に努める。



詳細はホームページにてご確認いただけます。  
<http://www.oitaswo.jp/>



## 令和5年度 入団式・就業前研修

今春から事業団とともに働く新採用職員の入団式・就業前研修を3/1～3にかけて行いました！  
1日に本部事務局のある大分県総合社会福祉会館で行われた入団式では、理事長から一人ひとりに内示が渡されました。残り2日間の研修は4月から勤務する施設・事業所に赴き実際の支援現場へ。  
皆さん、どうぞよろしくお願いします！



令和5年度新採用職員入団式

### 令和5年度 採用職員オープンセミナー



サービス管理責任者より  
事業内容の説明

2月9日(木)には、県北の4施設・事業所を巡るオープンセミナーを実施しました。参加者は入団予定者のうち28名。障害者支援施設だけでなく、地域移行に向けて一定期間、生活能力等の維持・



施設内見学の様子

向上のための訓練を行う宿泊型立訓練を提供する系口通勤寮や、高齢者と高齢障がい者へ共生型サービスを提供する八つ星の丘など、法人の特色ある事業を知つてもらいました。



大分県のぞみ園  
古長 奈々 支援員

クローズアップ!!

新採用職員にきました！

入団式・就業前研修に  
じぎょたんが潜入！  
「新入団者宣誓」を行った  
古長奈々さんにインタビューしました

入団式・就業前研修を終えた今の  
気持ちは？

同期となるメンバーと初めて一堂に会し、学生生活を終えて社会人になるんだという思いを新たにしました。



これからよろしくね！



新入団者宣誓！  
少し緊張しています